

【様式】

政 務 活 動 一 覧

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
4 / 2	16:00～ 17:00	鳥取市東町	鳥取県庁議会議 棟	議会事務局 新高	鳥取県議会タ スクフォース 会議	401
4 / 13 ～14	10:00～ 16:00	八頭町船岡	船岡地区公民 館	参加者 10 名	県政報告会 意見交換	402
		智頭町智頭	智頭総合セン ター			403
	10:00～ 12:00	若桜町若桜	若桜町公民館			404
						505
5 / 27	8:30～ 19:00	島根県鹿島町	島根原子力館	副本 部長他	島根原発 3 号 機施設見学他	506
6 / 4	15:00～ 16:00	鳥取市扇町	県民ふれあい 会館	スポーツ課	令和 15 年度国 民スポーツ大 会・全国障害者 スポーツ大会 準備委員会	601
7 / 6 ～13	10:00～ 16:00	智頭町智頭	智頭総合セン ター	参加者 14 名	県政報告会 意見交換	702
	14:00～ 16:00	八頭町宮谷	八頭町中央公 民館			703
		若桜町若桜	若桜町公民館			704
						801
8 / 9	13:30～ 17:30	岡山県美作市	作東バレンタ インホテル	会長 他	美作岡山道路 北部延伸道路 整備促進期成 会総会	802
10 / 13 ～20	10:00～ 16:00	智頭町智頭	智頭総合セン ター	参加者 20 名	県政報告会 意見交換	1001
	10:00～ 12:00	八頭町北山	丹比地区公民 館			1005
		若桜町若桜	若桜町公民館			1006
						1010
10 / 19	8:45～ 12:30	鳥取市桂見	鳥取県民体育 館	議会事務局 田中	ねんりんピッ ク開会式	1004
12 / 20	15:00～ 15:25	鳥取市永楽温 泉町	ホテルモナー ク	スポーツ課	国民スポーツ 大会表彰式	1206

1/11～ /12	14:00～ 16:00 10:00～ 16:00	若桜町若桜 智頭町智頭 八頭町船岡	若桜町公民館 智頭総合セン ター 船岡地区公民 館	参加者 19 名	県政報告会 意見交換	102 103 105 301
2/17, 18	8:00～ 16:00	横浜市中区 東京都江東区	大林組高層純 木造耐火建造 物 PortPlus 竹中工務店免 震高層木造ハ イブリット建 築フラッツウ ッズ木場	広島支店岡山 営業所 所長 大和ライフネ クスト株式会 社エルプレイ ス運営課 他	日本初の CLT 純木造高層建 築 耐火集成材や CLTを使った単 身者向け賃貸 マンション視 察	207
3/30～ 4/5	14:30～ 19:00	フィンランド オーストリア	LUKE・TAPIO マイヤーメル ンホフ社 ピヒル森林研 修所	他	森林エコノミ ー、森林デジタ ル化、タワーヤ ーダー、人材育 成他	108 302

- ・交通費（JR 等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が 1 日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 前住孝行

活 動 事 項	島根原子力発電所 3 号機調査
活 動 年 月 日	令和 6 年 5 月 2 7 日
場 所	島根県松江市鹿島町
活動の相手方	島根原子力本部副本部長 XXXXXXXXXX
活 動 の 目 的	島根原子力発電所の再稼働の計画がなされている島根原発施設を調査することで、現状や今後の予定などを確認するとともに、先日、発生した火災の原因について説明を受けるため。
活 動 の 内 容	島根原発 2 号機の追加工事の進捗状況や稼働目前まで迫っていた 3 号機の施設内を見学し、内部の様子などの説明を受けた。その後、意見交換を行った。
活動の結果等	地震に備えた耐震化。津波に備えた防潮堤の高さ、座礁してきた船舶も想定しての厚み。竜巻に対応するために軽油タンクを地中化。三瓶山の噴火を想定した火山灰対策。質問しようと思っていたテロ対策など、安全面で様々な想定に対応された対策を施されていた。 テロ対策の面では、あまり詳しいことは、話せないそうで、実際にかんがりの大規模な工事がなされている様子も伺えた。 稼働寸前までいっていた 3 号機の細部まで見させていただき、中央制御室なども今は、見学できるが、稼働したら絶対に見ることのできない所まで、見学できた。周辺には、たくさんのポンプ車や貯水槽、厳重な出入り監視体制、様々な所に設置してある監視カメラなど、資源の少ない日本でエネルギーを考える叡智の結集といった感じだった。 見学を終えて、エネルギー資源について、国民一人ひとりが考えるべきではないかという話になり、島根大学でも新しいカリキュラムができたそうで、そういった学ぶ環境づくりも必要になってくると考える。鳥取県としても小学生から高校、大学までエネルギーについて考える機会を増していければと思う。
関連領収書番号	5 0 6

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 前住孝行

活 動 事 項	美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会総会参加
活 動 年 月 日	令和6年 8月 9日
場 所	作東バレンタインホテル
活動の相手方	美作岡山道路北部延伸道路整備促進期成会 会長 XXXXXXXXXX
活 動 の 目 的	地域高規格道路美作岡山道路の北部延伸によって、地域間を結節する新たな道路交通網を整備し、岡山圏域と鳥取圏域及び周辺市町の連携強化による圏域全体の発展の寄与すること。
活 動 の 内 容	総会参加により、本会の事業報告で、国土交通省中国地方整備局や国土交通省道路局長、地元選出国會議員への要望活動を行っていることを確認した。今年度も、引き続き、直接要望活動することを計画していることの確認をした。
活動の結果等	高規格道路「美作岡山道路」の北部延伸に向け、必要な調査を進め、早期の事業化を図っていただくこと。高規格道路「美作岡山道路」の北部延伸に向け、事業推進に必要な予算を確保していただくこと。の2点について要望することを確認して、各機関へ要望活動してきた。道路行政には消極的な伊原木知事も要望活動を行ってきた成果か、雰囲気が変わってきたことを会長が話された。
関連領収書番号	802

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 前住孝行

活 動 事 項	鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟県外調査
活 動 年 月 日	令和7年 2月 17日～ 2月 18日
場 所	横浜市中区 東京都江東区
活 動 の 相 手 方	大林組高層純木造耐火建築物 PortPlus（研修所） 竹中工務店免震高層木造ハイブリット建築フラッツウッズ木場
活 動 の 目 的	日本初の CLT による純木造高層建築（11階建て）、耐火集成材や CLT を使った単身者向け賃貸マンションを調査することで、実際の建物や工法などを知り、県産材の利用促進を図る礎とするため。
活 動 の 内 容	日本初の CLT による純木造高層建築（11階建て）である大林組高層純木造耐火建築物 PortPlus（研修所）を調査し、木材を多く使っているにもかかわらず3時間耐火認定を受けた仕組みや音を吸収する工夫など、様々な技術が結集して作られていた。 耐火集成材や CLT を使った単身者向け賃貸マンション竹中工務店免震高層木造ハイブリット建築フラッツウッズ木場では、燃エンウッドという3時間耐火認定を受けられていて、木材の温かさがあるため、割高家賃でも人気があるということでした。森林グランドサイクルを回しておられ、子どもたちへの教育にも生きているそうです。
活 動 の 結 果 等	都市部でこのような木材の高層建築物が増えていくことで、木材の需要が上がり、多くの材木が活用されることで、林家にも恩恵があり、森林グランドサイクルが確立されれば、温暖化対策にもつながっていくことと考える。 木のぬくもりをより多くの方に知ってもらい、将来は木の家を建てたいと思う子どもたちが増えることを期待する。
関連領収書番号	207、304

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 前住孝行

活 動 事 項	鳥取・岡山県境議員連盟海外研修
活 動 年 月 日	令和7年 3月 30日～ 4月 5日
場 所	フィンランド：ヘルシンキ オーストリア：ウィーン、グラーツ
活動の相手方	フィンランド：LUKE、TAPIO、フィンランド大使館、林業協会 オーストリア：マイヤーメルンホフ社、大使館、ピヒル森林研修所
活 動 の 目 的	鳥取県と岡山県の県境地域共通の課題解決に向けて、フィンランド及びオーストリアにおける林業をはじめとした先進的な取組等について調査を行い、今後の両県の施策立案の参考とする。
活 動 の 内 容	LUKE（天然資源センター研究機関）では、森林バイオエコノミーを進められ、木材をとりまくクラスターを設立し、再生可能エネルギーの活用を進める取り組みについて説明を受けた。TAPIO（森林管理コンサルタント）では、森林の管理システムを構築され、どこの地域にどのような材がどれだけあるのか、どれくらいの程度で間伐をするとか何年後にどうなるかななどの説明を受けた。フィンランド大使館では、フィンランドの経済成長の現状や課題などの説明を受けた。メツァテオリス（フィンランド林業協会）では、木材を建材やパルプにするのはもちろん、繊維や包装紙でも使えるように推進していたり、空気中の炭素を使っていく研究を進めたりしておられた。オーストリア大使館では、経済成長の現状や文化・観光立国であること、姉妹都市交流の状況を聞いた。マイヤーメルンホフ社では、林業機械の組立工場や実際に現場で稼働している状況を視察した。ピヒル森林研修所では、資格取得のために研修を受け入れている状況や段階に応じてスキルアップできる研修体制を紹介していただいた。
活動の結果等	タワーヤーダーなど、急傾斜の多い地域には、こうした機械導入が必要だと感じた。県内でも導入したいという意見をいただいていたので応援したい。また、安全性を第一に考えた施業を研修で教えておられ、資格取得でレベルアップも図れることで、林業に対する地位も高まっている感じを受けた。森林バイオや森林のデジタル化など、県内でも進めるべきことが見られ、これからの森林施業のために今できることを進めていく必要性を感じた。
関連領収書番号	108、302